

1 題材 世界の動物を英語で学ぼう

2 目標

- ・相手と向き合い、きちんと英語で伝え、楽しく歌やゲーム等の英語活動をしようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・挨拶をしたり、歌ったり、「I like ～」を使って相手と対話することができる。(表現の能力)
- ・相手が言っている内容を聞き取り、身振りから理解することができる。(理解の能力)
- ・世界の主な国々やそこに住む動物を知り、動物の英語名を知ることができる。
(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

社会科では、世界の国々の特色を学習している。そこで、本題材では、世界の国々とそこに住む動物を関連づけ、世界の国々や動物への興味や関心を高めながら世界の文化や英語に触れさせるものである。そして、ここで使う「I like ～」は英語でコミュニケーションをとる際の基本となる表現である。

本学級の生徒は、スペルを読む、書く、覚えること、さらには、一度覚えた英単語を定着させることが難しい。その上、最近では5W1Hを意識的に使わない傾向にある生徒たちにとって、それらをきちんと使う英語には戸惑いがあり、例えば、「I have ～」といった文であっても混乱する様子が見られる。そのため英語に対する苦手意識があり、学習意欲は低い。そこで興味や関心を高める教材を使い、繰り返し指導することによって簡単な英単語も覚え、楽しんで学習するようになってきた。

本授業では、「世界の動物を英語で学ぼう」という課題設定により既習事項を生かしながらALTとのコミュニケーションを主としたより実践的で楽しい英語活動を進め、簡単な英語に対する理解力や活用する力を育てたい。

4 生徒の実態と個別目標

略	生徒の実態
A	・思いやりがある。通常の学級でトラブルがないように気を付けている。 ・比較的、理解力や表現力はあるが、基礎・基本でのつまずきも多い。
B	・穏やかな性格であり、協調性がある。社会と理科も通常学級で受けている。 ・特に言語理解・表現能力に欠け、国語の指導が必要である。
C	・対人では緊張が高く、集団参加が難しい。Gと仲がよい。 ・小学校中学年程度の読解力がある。人前で少しずつ話す場面も増えてきた。
D	・真面目な性格である。理解できない学習は避けようとするが、理解すると繰り返し学習することができる。人前で話すことが苦手である。
E	・丁寧に話せば気持ちを通じ、理解することが多い。達成感を味わうことで、進んで授業に参加し、学習の雰囲気や質を高める存在である。書くことが苦手である。
F	・1・2年は不登校であったが、現在は休むことなく、登校している。 ・生活力がある。・小学校の低学年程度の問題でつまずくことが多い。
G	・Cと仲がよい。 ・学習面では、基礎・基本でつまずくことが多い。
H	・知的な遅れがある。

短期個別指導目標	単元における個別指導目標
<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な英会話をすることができる。 ・カード合わせで英単語を覚えることができる。 ・簡単な英単語を使って楽しくゲーム活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常のあいさつや「How are you?」を使った会話をすることができる。 ・日本語と英語の動物カード合わせができる。 ・動物を中心に、簡単な英単語や「I like」を使ってALTと楽しくゲームをすることができる。
教育的ニーズに応じた個別の支援内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・絵を入れ、視覚的にわかりやすい資料を提示することで、意欲的に取り組ませる。 	

5 キャリア教育との関連

本学級は、対人関係を築くことが苦手で集団に参加できない生徒が多い。そのため、将来の社会自立を踏まえ、動物をテーマに相手と楽しく活動する中で、日常の挨拶など生活の基本的なスキルを習得させ、「人間関係形成能力」を育てたいと考える。

6 学習計画及び評価計画（5時間 本時は○）

時	主な活動及び内容	評価の視点
1	<ul style="list-style-type: none"> 世界の主な国々の名前や場所を理解する。 主な国名を英語で言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の主な国々の名前や場所を理解することができたか。（知識・理解） 主な国名を英語で言うことができたか。（表現）
2	<ul style="list-style-type: none"> 世界の主な国々に住む人々の様子を知る。 世界の主な国々に住む動物を考えてカードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の主な国々に住む人々の様子を知らることができたか。（知識・理解） 世界の主な国々に住む動物を考えてカードに書くことができたか。（表現）
3	<ul style="list-style-type: none"> ALTが「I like ～」と言った意味を理解し、カードをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTが言う「I like ～」の意味を理解し、カードをとることができたか。（理解・表現）
4	<ul style="list-style-type: none"> 「I like ～.」と最初の生徒が言った英単語を理解し、「and ～.」と付け加えて順番に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「I like ～.」と最初の生徒が言った英単語を理解し、「and ～.」と付け加えて順番に表現することができたか。（理解・表現）
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 動物の英語カードを使って楽しくゲームをする。 「I like ～」を使ったゲームをしながら、前の人が言った動物名をきちんと聞き、自分で考えた動物名を加えて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 動物の英語カードを使って楽しくゲームをすることができたか。（関心・意欲・態度） 「I like ～」を使ったゲームをしながら、前の人が言った動物名をきちんと聞き、自分で考えた動物名を加えて発表することができたか。（理解 表現）
6	<ul style="list-style-type: none"> まとめと発展 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の動物を知り、英語名を大体覚えることができたか。（知識・理解）

7 本時の指導

(1) 目標

- 世界各地の動物を知り、動物の英語名を使って対話したり、ゲームをしたりすることができる。（関心・意欲・態度）
- 「I like ～」を使った活動を通して聞いたり、英語で答えたりすることができる。（理解・表現）

(2) 個別の目標

氏名	個別の目標
A	<ul style="list-style-type: none"> 世界の動物の英語名に興味を持ち、発音の練習やゲームを楽しくすることができる。 CやGと仲よく英語活動をするすることができる。
B	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の生徒の動きに合わせて発音の練習やゲームを楽しくすることができる。 上級生の助言を受け世界の動物の英語と日本語カードをマッチさせることができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> 大好きな動物の英語名に興味を持ち、発音練習やゲームに取り組むことができる。 AやGと楽しく英語活動をするすることができる。
D	<ul style="list-style-type: none"> 世界の動物に興味を持ち、英語名をローマ字などで読み、丁寧にノートに書くことができる。動物の英語名を使って楽しく対話やゲームをすることができる。
E	<ul style="list-style-type: none"> 進んで授業に取り組み、世界の動物の英語名をローマ字などで読むことができる。 動物の英語名を使い、友達と楽しく対話やゲームをすることができる。
F	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の生徒の動きに合わせて、動物の英語を使って楽しく活動することができる。 Hと協力して活動することができる。
G	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の生徒の動きに合わせて、動物の英語を使って楽しく活動することができる。 AやCと仲よく英語活動をするすることができる。
H	<ul style="list-style-type: none"> 私語をしないで話をよく聞き、落ち着いて行動することができる。 周囲の生徒の動きに合わせて発音の練習やゲームを楽しくすることができる。 Fと協力して活動することができる。

(3) 展開

(○は特に支援を要する生徒へのはたらきかけ)

主な学習活動・内容	形態 資料	教師の働きかけ	
		JTE	ALT
1 Greeting ・英語であいさつする。 ・「How are you?」 ・Singing 『アルファベットの歌』	一斉 ペア 歌詞カード	・Fを号令係として責任を持たせ、大きな声であいさつをさせ、雰囲気を盛り上げる。 ○特にCが小声でもあいさつした時には称賛する。 ・ギターで伴奏し、楽しく歌えるようにする。	・英語で歌い、英語への関心を高める。
2 Review ・動物の絵カードとスペルカードを合わせ、発音をする。	一斉 マッチング 用カード	○1年のAやBには反復練習し、上級生の前で成果を出せるようにする。 ・事前に世界の動物イメージをカードに書かせて意欲付ける。	○AやBがマッチしている時には称賛し、自信を持たせる。
3 New Material ・各国の動物を考え、発表する。 生徒達とALTの対比 ・ALTが書いた動物のスペルをローマ字で読む。 (とら カンガルー コアラ ペンギン) ・ALTの真似をして世界の動物を英語で発音する。 ・動物の英語カードと日本語カードを合わせる。 ・1つの英単語のスペルをノートに書く。	一斉 生徒作カード(日本語や絵) 世界の動物 英語カード	○EやFには世界の動物を発表させ意欲付ける。 ○DやKがローマ字等を手がかりにして読めた時は称賛する。 ○マッチングはカード数を減らし、BやFにもできるようにする。 ○Dが意欲的にノートに英単語を書いた時には大いに称賛する。 ○不慣れなAやC、Gには行動を近くで指示する。 ○スペルと絵の2つのヒントから選べるようなカードで意欲的に活動させる。 ○BやFには前の生徒が言うことを聞かせる。 ○BやCには絵などを提示し、ヒントを与える。	・生徒のイメージが足りない場合にはALTに付け加えて紹介してもらう。 ・生徒の反応を見て発音するスピードを調整して真似させる。 ○Aが元気に発音できた時には称賛して自信を持たせる。
4 Communicative Activities ○Game ①英語カルタゲーム ALTが「I like～」と言ったカードをとる。[例：コアラ] ②「I like～」と最初の生徒が言ったフレーズに「and～」を加えて順番に言う。	一斉 世界の動物 の英語と絵 入りカルタ 世界の動物 英語カード	○カードを複数用意すると共に、聞き取りやすく発音して消極的な生徒も取れるようにする。 ・ゆっくり英単語を発音し、聞き取りやすいようにする。	○カードを複数用意すると共に、聞き取りやすく発音して消極的な生徒も取れるようにする。 ・ゆっくり英単語を発音し、聞き取りやすいようにする。
5 Conclusion 次時の学習内容を確認する。		※「I like」を使った活動を通して聞いたり、英語で答えたりすることができたか。(観察)(理解・表現) ※ゲームに進んで参加することができたか。 (観察・発表)(関心・意欲・態度) ・本時の活動を称賛し、次時への意欲付けを図る。	・活動を称賛し、次時への意欲付けに結びつけるようなあいさつをする。

(3) C評価になった生徒に対する支援

本時の基本表現を再度確認し、繰り返し指導して活用できるように達成感や満足感を味わわせる。